

外部評価 実施日	令和6年3月25日
-------------	-----------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	代表者	大西 弘文	法人・ 事業所の 特徴	①「日の出医療福祉グループ」の介護サービス事業所です ②地域医療との連携をはかり、通いなれた病院を利用できます ③多種多様なサービスからご自身に合ったサービスの提供を提案します ④専属のケアマネージャーが必要に応じて「通い」「泊まり」「訪問」サービスを組み立てます(24時間365日) ⑤地域との関わりを継続する支援をおこないます
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵 西条	管理者	川端 洋一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	3人	1人	人	1人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	利用者様の望む暮らしを実現できるよう、聞き取りを充実させ、実現に向け知識や技術、職員間の共有と連携を図る。	望むくらしに対する聞き取りについては、前年度に比べ充実した。一方で職員間での情報共有や人材育成が今後の課題。	・情報共有については、ミーティングなど短時間でもよいので行う方がよい。 ・日常生活と地域の中での生活に繋がりを持てるような支援が大切。	住み慣れた地域で望むくらしを続けられるよう、柔軟なサービス調整と提供を行う。
B. 事業所のしつらえ・ 環境	継続した感染予防の徹底を行い、事業所内での感染拡大を防ぐ。	事業所内でのコロナウイルスやインフルエンザによる感染あり。通いサービスを制限し訪問サービスにて対応を行う時期があった。	・感染の問題もあるが、運営推進会議が公民館になってからはゆとり庵さんの雰囲気分からない。 ・ゆとり庵さんに入ったことがない。	継続した感染予防を行いながら、地域住民や関係機関に事業所について知ってもらう機会を設ける。
C. 事業所と地域の かかわり	地域で開催されているイベントを把握し、参加可能なイベントに利用者様と一緒に参加することで、地域住民との定期的な繋がりが持てるようにする。	イベント一覧等の情報を収集することができたが、事業所として参加することがなかった。一方で支え合い協議会に参加し、地域課題の解決に向けて取り組むことができた。	地域との関わりはあるようだけど、具体的なイメージがあまりわからない。	イベントなどこれまでの地域活動に継続的に参加し、繋がりを密にしていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	ご本人やご家族様のご意向を都度確認し、適時必要な社会資源に繋ぐことで、住み慣れた地域でくらし続けられるように支援する。	日常生活や医療・福祉などの分野において、適時サービスを行うことができた。継続して地域資源の収集を行い、適切に活用していく。	天気の良い日には利用者さんと散歩している姿はよく見えます。	ご利用者・ご家族様が望む地域でのくらしを聞き取り、適時支援する。また、事業所からも積極的に地域の情報を収集し、スムーズな支援が行えるようにする。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	感染予防を行いつつ、できる限り定期的に運営推進会議を開催し、事業所の運営状況や地域課題などについて共有し、課題解決に向けて協働する。	2か月に1回の頻度で定期的開催ができた。一方で開催場所を公民館に変更したことで、事業所内の雰囲気がイメージしにくくなったことが課題。	・活動を写真したり、見学会などを行う等イメージしやすくしてはどうか。 ・運営状況や活動内容を数値化することで見えてくることもあるので良いと思う。	事業所の活動内容等と定期的に発信すると同時に課題や今後の取組、地域情報の収集を行い、地域に根差した事業所運営を目指す。
F. 事業所の 防災・災害対策	以前のように、地域住民の方にも防災・災害訓練に参加して頂き、災害や火災が発生した際の行動を全体で確認し合う。	定期的防災・災害訓練は実施できた。が、地域住民への声かけは行えず、参加には至らず。	・地域住民が訓練に参加しても、利用者さんのことが分からないので邪魔にならないか心配。	地域住民の方にも参加しやすい防災訓練を企画し、いざという時の備えを行う。